

地域協議会について

地域の課題や問題を取り上げ、より良いまちづくりを推進するため、市長の附属機関として、各地域に地域協議会が設置されています。

地域協議会では、地域住民組織から推薦された15名の委員が、その地域に関する事項について調査・審議し、施策について意見を述べています。

地域協議会の概要は、**浜田市ホームページでも公開**しています。

浜田市ホームページ → 市政情報 → 協働のまちづくり → 地域協議会



地域協議会は**原則傍聴可能**です。

開催日等については、浜田市ホームページ等でご確認いただけます。



委員のご紹介

各連合自治会から推薦をいただいた委員の皆さんへ委嘱状を交付しています。

任期は、令和4年3月31日までの1年間です。

会長に村井栄美子さん(周布)、副会長に磯野光孝さん(浜田)が就任されています。

(敬称略)

名前	推薦団体	名前	推薦団体
磯野光孝	浜田地区自治協議会	宮下義重	長浜地区自治協議会
竹山勝彦 (~令和3年9月28日)	浜田地区自治協議会	原田豊	周布地区連合自治会
表田力 (令和3年9月28日~)	浜田地区自治協議会	村井栄美子	周布地区連合自治会
宮田弘	浜田地区自治協議会	辻野一正	大麻地区自治会
佐古肇徳	石見地区自治協議会	平野公望	美川連合自治会
肥塚由美子	石見地区自治協議会	熱田純子	国府地区連合自治会
細川良一	石見地区自治協議会	井戸静志 (~令和3年9月28日)	国府地区連合自治会
三浦美穂	石見地区自治協議会	宮木竜一 (令和3年9月28日~)	国府地区自治協議会
長谷川真美	長浜地区自治協議会		以上、15名です。

令和3年度に実施した浜田地域協議会(全3回)について、議題の内容と主な意見・質問について紹介します。

第1回 浜田地域協議会

～令和3年4月23日(金) 全員協議会室～

1. 施政方針について

市長より、施政方針と浜田市におけるワクチン接種計画について説明がありました。

質問

気候変動サミットが行われ、すごい目標が出た。国でいろいろ検討され、自治体でも脱酸素の数値目標が出てくると思う。目標値に対して、どのように脱温暖化の対策をとっていかれるか、市長の考えを伺いたい。

回答

この問題は世界的に共通する大きな問題であり、おそらく、まずは国の方針が出てくる。その枠の中で、自治体ができることを取り組んでいくことになる。まずは国の方針を見ながら、とは言え、今できることは一歩ずつやっつけていこうと思っている。

2. 会長及び副会長の選任について

次のとおり決定しました。

会長:村井 栄美子委員 副会長:井戸 静志委員

3. 各種委員の選出について

(1)浜田市地域公共交通活性化協議会委員

協議の結果、井戸副会長が選任されました。

4. 議会との意見交換会について

三浦市議会議員より、議会と地域協議会の意見交換会について、ご提案及びご説明いただきました。

お知らせ

令和3年度 **協働のまちづくりフォーラム**【実践発表】

録画配信(オンデマンド開催)中!

協働のまちづくりに取り組んでいる3団体に実践活動の紹介をしていただきます。ぜひご覧ください!

実践発表 1

今福地区まちづくり委員会

「支え合う、いま・福のある里づくり」を目指して

実践発表 2

三保まちづくりセンター

☀ すまいる三保
～大人も子どももつながるまちづくり～

実践発表 3

HAMADA教育魅力化
コンソーシアム

「今なぜ、高校と地域との連携・協働が必要なのか」

総評

長畑 実 氏
(協働のまちづくり検討部会 部会長)

地区まちづくり委員会やまちづくりセンターの活動をまとめた『**実践事例集**』もご覧いただけます。

浜田市ホームページからご視聴ください(YouTubeによる録画配信)。

浜田市ホームページ → 暮らしの情報 → 市民参加・まちづくり
→ 市民活動・まちづくり → 協働のまちづくりフォーラム



第2回 浜田地域協議会

～令和3年6月7日(月) 全員協議会室～

1. 報告事項（副会長の選任について）

第1回地域協議会終了後、村井会長と事務局で調整を行い、次のとおり就任されました。

副会長：磯野 光孝委員

2. 議会との意見交換会について

「地域で力を入れて取り組んでいること」「地域の関心事(困りごと)」をテーマに、6名の市議会議員の皆さんと意見交換を行いました。



議員

地域で力を入れて取り組んでいることを教えてください。

高齢者への支援

空き家の有効活用

子どもの見守り

防災・防犯に関すること

チームSOSの設立

朝市の実施



委員



議員

地域の関心事(困りごと)を教えてください。

人口減少や高齢化による地域活動や役員の担い手不足

集会所のない地域が多い

通学路の安全確保

環境問題(河川のごみ、河川の砂、野良猫対策)



委員



委員

協働のまちづくりとはどのようなものなのか、一言で教えていただきたい。

まさに、チームSOSのような取組を地域でできることが協働のまちづくり。そういうことを進めることが協働のまちづくりではないかと思っている。

各地域の活動が、まさに協働だと思っている。
また、今回の意見交換会のように、「行政」「地域住民」「議会」それぞれの役割を互いに果たしながら、1つのまちに根差して協働していくことも協働のかたちだと思っている。
このような場を、これから議会広報広聴委員会としても、議員としてもやっていきたい。



議員

3. 各種委員の選出について

(1) 浜田市総合振興計画審議会委員(兼(仮称)協働のまちづくり検討部会委員)の選任について

協議の結果、村井会長が選任されました。

第3回 浜田地域協議会

～令和3年9月28日(火) 第2東分庁舎 2階南会議室～

1. 副会長について

各連合自治会内の役員改選等により、任期中の浜田地域協議会の体制に変更が生じました。これに伴い、今期については磯野副会長1名体制とすることにしました。
(委員の任期が令和4年3月末までのため)

2. 浜田市総合振興計画後期基本計画(案)について

浜田市政策企画課より、浜田市総合振興計画後期基本計画(案)について説明がありました。

質問

前提条件を「令和7年度の出生数を300人維持できるもの」と定めているが、どのくらいペアリングすればこの数字になる、という想定があるのか。

回答

どのくらいのペアリングになるか、ということは反映していない。国が出している今後の出生率等を踏まえ、浜田市の数字を当てはめている。

意見

漁業のところに、現状値と目標値がある。本来ならば、約40年前と比較して減ってきていることについて、「どのように力を入れて、どこまで復帰させるのか」を示すべきだと思う。

回答

水揚げ量を上げるためには船団を増やすことが必要だが、現状を維持することが最大限可能なところだと考えている。地元の船を増やす努力もしているが、難しい。そこで、隠岐船団等の別の船に来ていただき、とにかく水揚げ量を増やすことを目指している。表現については確定していないので、担当課と内容を調整する。

意見

4年後には益田浜田道ができる。それを見越して30年前に広島道を造っている。ただ浜田市と益田市が近くなるのではなく、高速道路の接点が浜田市にあることを考えてもらいたい。物流拠点都市という考え方も計画に載せてほしい。

回答

広島県は中国道、山陽道全部が繋がっているので、全国に繋がる。計画(案)にも、港の促進利用と物流機能の強化と書いているが、書き方が弱いということで、持ち帰って協議する。

意見

観光について、九州博多あたりへのアプローチを検討されてはどうか。観光は浜田市単独では難しいが、宿泊客を増やすことは可能だと思う。例えば、津和野町と連携を図り、周辺都市に宿泊し、観光してもらえよう流れを作ってはどうか。浜田市でいろいろな観光拠点を結んでいく作業を考えてもらいたい。

3. 浜田市協働のまちづくり推進計画に掲載する事例について

浜田市地域活動支援課より、浜田市協働のまちづくり推進計画に掲載する事例について説明がありました。

4. その他

浜田市地域活動支援課より、「あいのりタクシー等運行支援事業」について説明がありました。

地域協議会だより(バックナンバー)は、[浜田市ホームページ](#)でも公開しています。

[浜田市ホームページ](#) ➡ [市政情報](#) ➡ [協働のまちづくり](#) ➡ [地域協議会だより](#)

